

# 平成24年度診療報酬改定の概要 (DPC制度関連部分)

厚生労働省保険局医療課

# 本日の説明内容

I . DPC制度の概要

II . 平成24年度診療報酬改定について

# I . DPC制度の概要

- DPC制度(DPC/PDPS)は、平成15年4月、閣議決定に基づき、特定機能病院を対象に導入された、**急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価制度**である。
- 制度導入前に実施された包括払い制度の試行において、同じ疾患であっても患者によって入院期間のばらつきが大きく、1入院当たりの包括評価制度と比較して1日当たりの包括評価制度の方が、在院日数がばらついていても包括範囲点数と実際に治療にかかった点数との差が小さいことや、1日単価を下げるインセンティブが存在すること等が示されたことから、在院日数に応じた**1日あたり定額報酬**を算定する、という現行のDPC/PDPSが導入された。
- 制度導入後、DPC/PDPSの対象病院は段階的に拡大され、平成24年4月1日見込みで1,505病院・約48万床となり、**全一般病床の約53.1%**を占めるに至っている。

## (参考) DPC対象病院数の変遷

### DPC対象病院数の変遷

年度 及び データの時期	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度対象病院(H15年4月)	0	0	0	0	1	81	82
平成16年度対象病院(H16年4月)	2	14	12	15	8	93	144
平成18年度対象病院(H18年4月)	6	30	47	71	46	159	359
平成20年度対象病院(H20年7月)	39	103	133	138	85	215	713
平成21年度対象病院(H21年7月)	130	259	261	231	135	262	1,278
平成22年度対象病院(H22年7月)	151	295	282	249	144	267	1,388
平成23年度対象病院(H23年4月)	163	313	295	257	148	271	1,447
平成24年度対象病院(H24年4月)見込み	181	335	301	265	149	274	1,505
<b>(参考)全一般病院数 (平成22年医療施設調査)</b>	<b>3,174</b>	<b>2,343</b>	<b>779</b>	<b>574</b>	<b>298</b>	<b>419</b>	<b>7,587</b>

### DPC準備病院数の変遷

年度 及び データの時期	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成18年度準備病院(H18年7月)	38	88	75	62	49	59	371
平成19年度準備病院(H19年7月)	182	282	222	170	100	115	1,071
平成20年度準備病院(H20年7月)	185	259	165	114	61	59	843
平成21年度準備病院(H21年7月)	111	116	48	32	13	11	331
平成22年度準備病院(H22年7月)	112	88	31	21	6	8	266
平成23年度準備病院(H23年4月)	95	70	17	13	2	4	201
平成24年度準備病院(H24年4月)見込み	103	93	31	17	1	3	248

## (参考) DPC算定病床数の変遷

DPC算定病床数の変遷(平成23年10月時点の病床数を表示)

年度 及び データの時期	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度対象病院(H15年4月)	0	0	0	0	424	66,073	66,497
平成16年度対象病院(H16年4月)	177	2,261	3,152	5,088	3,507	75,145	89,330
平成18年度対象病院(H18年4月)	429	4,701	11,892	24,479	20,343	114,551	176,395
平成20年度対象病院(H20年7月)	2,820	15,839	33,027	47,505	37,363	149,534	286,088
平成21年度対象病院(H21年7月)	8,915	39,127	64,908	79,136	59,544	178,594	430,224
平成22年度対象病院(H22年7月)	10,099	44,196	69,983	85,612	63,548	181,710	455,148
平成23年度対象病院(H23年4月)	10,869	46,708	73,212	88,320	65,189	184,064	468,362
平成24年度対象病院(H24年4月)見込み	11,994	50,078	74,571	91,071	65,606	186,219	479,539
<b>(参考)全一般病院数 (平成22年医療施設調査)</b>	<b>117,401</b>	<b>193,471</b>	<b>111,474</b>	<b>140,441</b>	<b>101,826</b>	<b>239,008</b>	<b>903,621</b>

DPC準備病院病床数の変遷(調査開始時の病床数で表示)

年度 及び データの時期	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成18年度準備病院(H18年7月)	2,670	13,472	18,403	21,080	21,523	36,909	114,057
平成19年度準備病院(H19年7月)	11,684	41,494	54,760	58,004	44,004	71,363	281,309
平成20年度準備病院(H20年7月)	11,563	37,366	40,793	39,151	26,940	36,429	192,242
平成21年度準備病院(H21年7月)	6,674	16,104	11,537	11,223	5,533	6,894	57,965
平成22年度準備病院(H22年7月)	6,904	12,473	7,265	7,018	2,498	5,249	41,407
平成23年度準備病院(H23年4月)	5,835	10,003	3,893	4,369	838	2,813	27,751
平成24年度準備病院(H24年4月)見込み	6,265	13,173	7,330	5,628	400	1,706	34,502

# 1. DPC/PDPS導入の経緯(2)

中医協(平成23年1月21日・総-3-1 抜粋)

(参考) 健康保険法等の一部を改正する法律附則第2条第2項の規定に基づく基本方針(平成15年3月28日閣議決定)より抜粋

急性期入院医療については、平成15年度より特定機能病院について包括評価を実施する。また、その影響を検証しつつ、出来高払いとの適切な組合せの下に、疾病の特性及び重症度を反映した包括評価の実施に向けて検討を進める。

※ 「DPC」という呼称については、①診断群分類に基づく1日当たり定額報酬算定制度を意味する場合と、②患者分類としての診断群分類を意味する場合とが混在し、両者の使い分けを明確にするべきという指摘があった。

本来DPC (Diagnosis Procedure Combination)は②の意味で作られた略称であり、支払制度の意味は含まれない。

このため、支払制度としてのDPC制度の略称についてはDPC/PDPS (Diagnosis Procedure Combination / Per-Diem Payment System)とすることで平成22年12月16日のDPC評価分科会において整理された。

## 2. DPC制度の対象

### (1) 対象病院

#### 平成24年度DPC対象病院の基準

- ① 一般病棟入院基本料等の7対1又は10対1入院基本料に係る届出
- ② 診療録管理体制加算に係る届出
- ③ 標準レセプト電算処理マスターに対応したデータの提出を含め厚生労働省が毎年実施する「DPC導入の影響評価に係る調査(特別調査を含む。)」に適切に参加
- ④ 上記③の調査において、適切なデータを提出し、調査期間1か月当たりの(データ/病床)比が0.875以上

※ DPC制度への参加を希望する病院は、DPC制度参加の届出を行う時点において、上記の基準をすべて満たしていなければならない。

## 2. DPC制度の対象

### (2) 対象患者

- 一般病棟の入院患者  
(療養病棟、精神病棟等の入院患者は対象外)
- 包括評価の対象となった「診断群分類」に該当した者
- ただし、以下の者を除く
  - 入院後24時間以内に死亡した患者、生後7日以内の新生児の死亡
  - 臓器移植患者の一部  
同種心移植、生体部分肝移植、造血幹細胞移植、等
  - 評価療養を受ける患者
  - 一部の特定入院料等の算定対象患者  
回復期リハビリテーション病棟入院料、亜急性期入院医療管理料、緩和ケア病棟入院料 等
  - その他厚生労働大臣が定める者(今回改定で新たに保険収載された手術等を実施する患者、高額薬剤を使用した患者等)

# 3. DPC制度における診療報酬

## (1) 概要

- 【包括評価部分】  
診断群分類毎に設定
- ・入院基本料
  - ・検査
  - ・画像診断
  - ・投薬
  - ・注射
  - ・1000点未満の処置等

+

- 【出来高評価部分】
- ・医学管理
  - ・手術
  - ・麻酔
  - ・放射線治療
  - ・1000点以上の処置等

【包括評価部分】

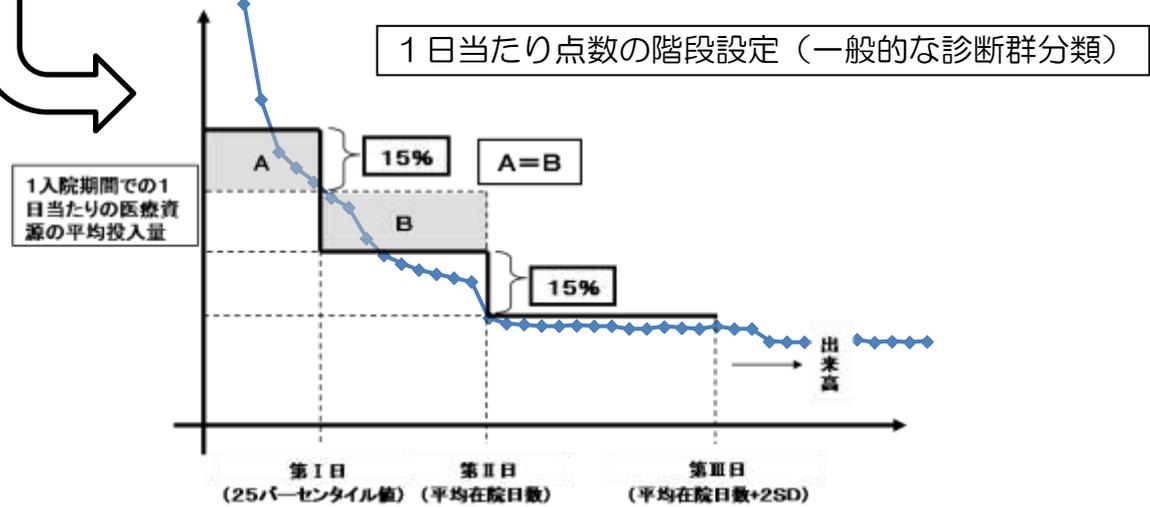
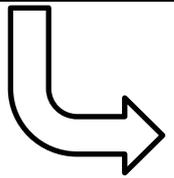
D P C 毎の  
1日あたり点数

×

在 院 日 数

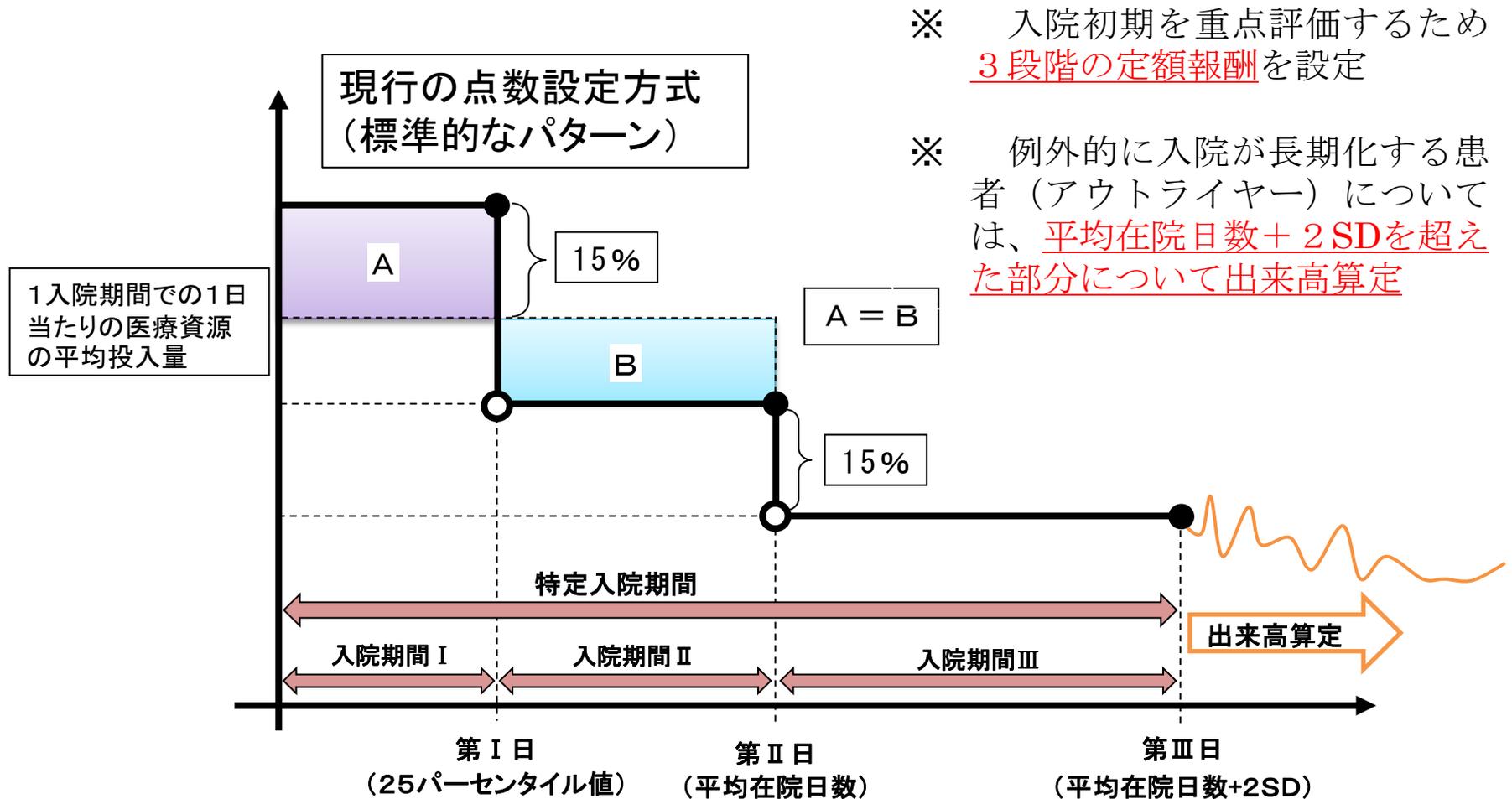
×

医 療 機 関 別 係 数



# 3. DPC制度における診療報酬

## (2) 診断群分類(DPC)点数表における1日当たり点数の設定方法



# 3. DPC制度における診療報酬

## (3) 診断群分類(DPC)の基本構造

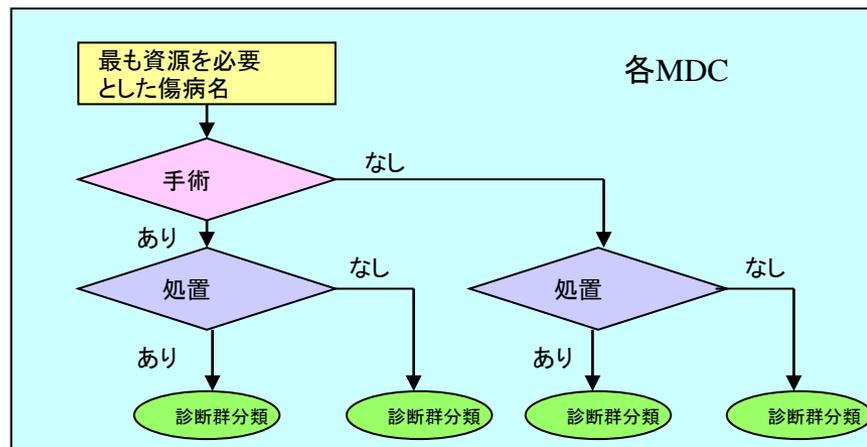
- 日本における診断群分類は、まず、医療資源を最も投入した傷病名により分類。  
次に、診療行為(手術、処置等)等により分類。
- 傷病名は、ICD10により定義  
診療行為等については、診療報酬上の区分で定義

MDC18種※

ツリー 2,927(うち包括2,241)※

※平成24年度改定における数

わが国の診断群分類開発では、臨床家の思考方法に近い形で判断樹を作成していくことを基本的理念としている



平成22年10月から平成23年9月までの12か月間のデータを用いて点数設定

# 3. DPC制度における診療報酬

## (4) 包括評価の基本的考え方①

### (包括評価の基本原則)

適切な包括評価とするため、評価の対象は、バラつきが比較的少なく、臨床的にも同質性(類似性・代替性)のある診療行為又は患者群とする。

### 前提① 平均的な医療資源投入量を包括的に評価した定額報酬(点数)を設定

- 診療報酬の包括評価は、平均的な医療資源投入量に見合う報酬を支払うものであることから、包括評価の対象に該当する症例・包括項目(包括範囲) 全体として見たときに適切な診療報酬が確保されるような設計とする。
- 逆に、個別症例に着目した場合、要した医療資源と比べて高額となる場合と低額となる場合が存在するが、個別的には許容する必要がある(出来高算定ではない)。
- 一方、現実の医療の中では、一定の頻度で必ず例外的な症例が存在し、報酬の均質性を担保できない場合があることから、そのような事例については、アウトライヤー(外れ値)処理として除外等の対応を行う(後述)。

# 3. DPC制度における診療報酬

## (4) 包括評価の基本的考え方②

前提② 包括評価(定額点数)の水準は出来高報酬制度における点数算定データに基づいて算出

- 制度設計に際し、包括評価(定額点数)のあり方や具体的な手法については様々な議論や検討がなされたが、
  1. 既存の出来高診療報酬体系で評価されていた医療機関の報酬体系の移行としてDPC/PDPSを発足させたこと、
  2. 既存の診療報酬体系と独立したコスト調査等の結果に基づく包括点数設定は現実的に困難なこと(データや評価体制が不十分)、等から、包括評価(定額点数)の範囲に相当する出来高点数体系での評価(点数)を準用した統計処理により設定する方式を採用している。

(※ 包括評価の設定は医療資源投入量を評価して設定すべき、という考え方から逆に見れば、出来高報酬制度における点数を医療資源投入量の近似値として使用(準用)している、と見ることもできるが、制度設計としては、出来高見合いの報酬(点数)設定が基本となっている。)
- このことから、包括評価(定額点数)の水準の是非についての議論は、DPC/PDPS単独の評価体系を除き、その評価の基礎となる出来高点数体系での評価水準の是非に遡って検討する必要がある。

# 3. DPC制度における診療報酬

## (参考) 実際の診断群分類(DPC)点数表(例示)

010060 脳梗塞	診断群分類番号	入院日(日)			点数(点)			
		I	II	III	入院期間 I	入院期間 II	入院期間 III	
JCS	JCS00未満							
	手術							
なし	手術・処置等1							
	なし							
なし	手術・処置等2							
	なし							
なし	新療状							
	なし	010060x09900x	4	11	29	2,877	2,287	1,944
	あり	010060x09901x	13	26	60	2,592	1,916	1,628
あり	1-新療状							
	なし	010060x09910x	10	29	76	2,795	2,238	1,903
	あり	010060x09911x	23	46	101	2,739	2,026	1,722
2-新療状	なし	010060x09920x	6	14	34	3,611	2,788	2,369
	あり	010060x09921x	19	37	73	2,862	2,095	1,780
3-新療状	なし	010060x09930x	9	18	39	3,537	2,614	2,222
	あり	010060x09931x	17	34	71	3,137	2,320	1,972
4-新療状	なし	010060x09940x	12	24	48	5,881	1,552	1,319
	あり	010060x09941x	18	36	71	4,952	1,753	1,490
あり	手術・処置等2							
	なし	010060x09910xx	2	4	10	3,395	2,508	2,132
あり	1	010060x09911xx						
	2	010060x09912xx	3	7	20	5,108	3,943	3,352
3-新療状	なし	010060x099130x	10	20	40	3,917	2,895	2,461
	あり	010060x099131x	18	36	70	3,404	2,516	2,138
4	010060x09914xx	13	25	49	6,121	1,672	1,421	

手術・処置等2  
 1:人工呼吸など  
 2:非放射性セシウム脳血流動態検査など  
 3:エダラボン  
 4:t PA